

愛知県立大学長期履修制度に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、愛知県立大学大学院学則（以下「大学院学則」という）第12条2項に基づいて、国際文化研究科及び看護学研究科の博士前期課程の学生と人間発達学研究科の博士課程の学生を対象とした長期履修制度を運用するために必要な事項を定める。

(対象者)

第2条 大学院学則第12条2項における「職業を有している等の事情」のある者とは次の者をいう。

- (1) 官公庁・企業等に在職している者や自ら事業を行っている者などフルタイムの有職者のほか、アルバイトやパートタイムに従事する者も含む。ただし、修学に支障を及ぼさない範囲でのアルバイトやパートタイムに従事する者は除外する。
- (2) 育児又は親族の介護を行う必要のある者。ただし、修学に支障を及ぼさない範囲のものは除外する。

(長期履修の申請)

第3条 長期履修を希望する者は、本学大学院の入学前の所定の時期までに、関係の研究科長に対し、長期履修許可申請書（様式1）その他所定の書類を提出しなければならない。

2 入学後に長期履修の申請をする者は、1年次の1月末日までに長期履修許可（入学後）申請書（様式2）その他所定の書類を提出しなければならない。

3 入学後の長期履修の申請は、特段の事情の変化があると判断される場合に限り、認められる。

(長期履修の期間)

第4条 長期履修の期間は、博士前期課程については3年又は4年、博士後期課程については4年又は5年のいずれかとする。

2 長期履修の開始時期は、学年の初めとし、学年の中途から開始することはできない。

3 長期履修の期間の変更を申請する者は、1年次の1月末日までに長期履修期間変更申請書（様式3）その他所定の書類を提出しなければならない。

4 長期履修の期間の変更は、特段の事情の変化があると判断される場合に限り、認められる。

(研究科の審議)

第5条 各研究科は、履修計画及び収容定員等を十分に検討した上で、長期履修の可否とその履修期間を決定するものとする。

(長期履修学生の授業料の納付)

第6条 長期履修学生に係る授業料の額については、愛知県公立大学法人授業料等徴収規程に定める金額を所定の期日までに納付しなければならない。

(実施細則)

第7条 各研究科は、必要に応じて、本規程に基づいた実施細則を定めることができる。

附 則

- 1 この規程は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 この規程は、平成21年度入学者から適用する。同年度入学者は、所定の時期までに長期履修の申請を行わなければならない。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

長期履修許可申請書

平成 年 月 日

愛知県立大学大学院 研究科長 殿

入学年度 _____
所属研究科名 _____
所属専攻名 _____
受験番号（学籍番号） _____
氏 名 _____

下記のとおり修業年限を超えて計画的に教育課程を履修し、修了したいので必要書類を添えて申請します。

記

1 希望する長期履修期間

平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日（ 年）

2 申請理由

3 勤務先

名 称		職 種	
住 所	TEL ()		

4 申請時における履修計画

履修年度		履 修 科 目 名	修得単位数
平成 年度	前期		
	後期		
平成 年度	前期		
	後期		
平成 年度	前期		
	後期		
平成 年度	前期		
	後期		
平成 年度	前期		
	後期		
合 計			

- 5 職業を有している事情を申請理由とする場合は、在職証明書又は在職が確認できる書類、育児を申請理由とする場合は母子健康手帳又は医師等が発行する出生（産）証明書又は出生届受理証明書等の写し、家族の介護を申請理由とする場合は医師の証明書又は在宅ねたきり老人等福祉手当受給資格者認定通知書の写し等、申請理由を証明する書面を添付すること。

長期履修許可（入学後）申請書

平成 年 月 日

愛知県立大学大学院 研究科長 殿

入学年度 _____
所属研究科名 _____
所属専攻名 _____
学籍番号 _____
氏 名 _____

下記のとおり修業年限を超えて計画的に教育課程を履修し、修了したいので必要書類を添えて申請します。

記

1 希望する長期履修期間

平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日（ 年）

2 申請理由（入学後に生じた特段の事情の変化）

3 勤務先

名 称		職 種	
住 所	TEL ()		

4 申請時における履修計画

(1) 履修計画

履修年度		履 修 科 目 名	修得単位数
平成 年度	前期		
	後期		
平成 年度	前期		
	後期		
平成 年度	前期		
	後期		
平成 年度	前期		
	後期		
平成 年度	前期		
	後期		
合 計			

(2) 教員の意見

教員（署名）_____

- 5 職業を有している事情を申請理由とする場合は、在職証明書又は在職が確認できる書類、育児を申請理由とする場合は母子健康手帳又は医師等が発行する出生（産）証明書又は出生届受理証明書等の写し、家族の介護を申請理由とする場合は医師の証明書又は在宅ねたきり老人等福祉手当受給資格者認定通知書の写し等、申請理由を証明する書面を添付すること。

長期履修期間変更許可申請書

平成 年 月 日

愛知県立大学大学院 研究科長 殿

入学年度

所属研究科名

所属専攻名

学籍番号

氏 名

下記のとおり長期履修期間を変更したいので、必要書類を添えて申請します。

記

- 1 今回申請の長期履修期間（ 1. 延長 2. 短縮 : いずれかを○で囲む）

平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日（ 年）

- 2 許可済の長期履修期間

平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日（ 年）

- 3 申請理由（特段の事情の変化）

4 勤務先

名 称		職 種	
住 所	TEL ()		

5 変更後における履修計画

(1) 履修計画

履修年度		履 修 科 目 名	修得単位数
平成 年度	前期		
	後期		
平成 年度	前期		
	後期		
平成 年度	前期		
	後期		
平成 年度	前期		
	後期		
平成 年度	前期		
	後期		
合 計			

(2) 教員の意見

教員（署名）_____

- 6 職業を有している事情を申請理由とする場合は、在職証明書又は在職が確認できる書類、育児を申請理由とする場合は母子健康手帳又は医師等が発行する出生（産）証明書又は出生届受理証明書等の写し、家族の介護を申請理由とする場合は医師の証明書又は在宅ねたきり老人等福祉手当受給資格者認定通知書の写し等、申請理由を証明する書面を添付すること。（無職を申請理由とする場合は除く。）